



12月21-27日  
クリスマス

# モルモン書の預言者たちはクリスマスについて どのようなことを教えているでしょうか

以下の聖句で、それぞれの預言者は救い主の誕生についてどのようなことを教えているでしょうか。あなたの考えを書き留めるか、あるいは家族と分かち合うとよいでしょう。



## ヒラマンの息子ニーファイ (紀元約 1 年)

「主の声が彼に聞こえて言われた。……『明日、わたしは世に来る。』」(3 ニーファイ 1:4-22 参照)



600 BC

500

400

300

200

100

0



## ニーファイ (紀元前約 600 年)

「腕に幼子を抱いたおとめが見えた。すると天使がわたしに言った。『神の小羊、まことに永遠の父なる神の御子を見なさい。』」(1 ニーファイ 11:13-33 参照)

## アビナダイ (紀元前約 148 年)

「世界が始まって以来、……すべての預言者たちも、……神御自身が人の子らの中に降って来[ら]れることを、彼らは述べてこなかったであろうか。」(モーサヤ 13:33-35 参照)

## ベニヤミン王 (紀元前約 124 年)

「主が、……人の子らの中に降って来て、……そしてこの御方は、イエス・キリスト、神の御子……と呼ばれ、母はマリヤと呼ばれる。」(モーサヤ 3:5-11 参照)

## 息子アルマ (紀元前約 83 年)

「神の御子は、……マリヤからお生まれになる。」(アルマ 7:7-13 参照)

## レーマン人サムエル (紀元前約 6 年)

「もう五年たつと、見よ、神の御子が……来られる。」(ヒラマン 14:1-13 参照)

